

令和6年度 兵庫県立錦城高等学校 学校評価結果一覧表

(教員自己評価)

行動指標の事例を参考にして、実践目標に対する自己評価を総合的に判断して4件法で評価する
 十分できている=4、概ねできている=3、あまりできていない=2、できていない=1

(生徒・保護者)

アンケート項目について4件法で評価
 そう思う=4、ややそう思う=3、あまりそう思わない=2、そう思わない=1
 保護者のみ「わからない」を回答に加える。

教育目標	評価の観点	実践目標	行動指標の事例	教員自己評価	生徒アンケート項目	生徒結果	保護者アンケート項目	保護者結果	
								平均	わからない
確かな学力の育成	授業力向上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業を構築する	・基礎学力の定着に向けて、個に応じた指導やユニバーサルな授業づくりの視点を生かすなど、わかりやすい授業を行っている。 ・学習の基盤となる言語活用能力を育む授業を行っている。	2.90 90%	錦城高校の授業はわかりやすいものになっていますか。	3.33 91%	錦城高校の授業はわかりやすいものになっていると思いますか。	3.48 94%	15%
	授業評価	指導と評価の一体化により学習内容を定着させる	・評価規準を検討し、観点別学習状況の評価をもとに授業改善を進めている。 ・公開授業、研究授業を積極的に行い、授業改善に努めている。	3.00 76%					
	ICT活用	ICTを効果的に活用した学びを推進する	・教科学習や情報収集等の場面でICTを積極的に活用している。 ・学校教育活動の中で、情報モラルについての指導を行っている。	2.90 86%	タブレットの使用やteamsは、学習に役立っていますか。	3.18 84%	タブレットの使用やteamsによる情報提供は、お子様の学習に役立っていると思いますか。	3.13 77%	21%
	授業規律の確保	授業を大切にす意識の啓発に努める	・生徒が授業を大切にす意識を持って授業に臨むよう、学習指導を行っている。 ・生徒の学習意欲を喚起するよう、きめ細かな指導に努めている。	3.05 76%	錦城高校では授業を集中して受けることができるように適切な支援をしていますか。	3.25 88%	錦城高校では授業を集中して受けることができるように適切な支援をしていますか。	3.30 91%	13%
豊かな人間性や社会性の涵養	ルールやマナーの遵守	誰もが安全に生活できるよう、ルールの意味を理解させ、生徒の規範意識を高める	・規範意識を高めるために、迷惑行為や問題行動について生徒自ら考える機会を与えている。 ・個人の自由と責任や権利と義務の意義について考えさせる指導を行っている。	3.00 71%	錦城高校の生徒心得はルールを守ることへの意識を高めるものになっていますか。	3.06 79%	錦城高校の生徒心得は規範意識を高め、適切なものになっていると思いますか。	3.30 90%	18%
	共生への態度	他者との価値観の違いを理解させ、他者と共生する態度を養う	・いじめを見逃さず、いじめを認知したときは基本方針に沿った対応ができる。 ・学校教育活動のあらゆる場面で生徒の人権意識を高める働きかけを行っている。	3.33 95%	錦城高校では命や人権の大切さについて学ぶ機会を適切に設けていますか。	3.37 93%	錦城高校では命や人権の大切さについて学ぶ機会を適切に設けていると思いますか。	3.39 96%	16%
	健康・安全意識の醸成	生徒自身が自らの生命を守るため、主体的に行動する力を高める	・防災教育はもとより自らの命を守る行動を意識させる機会を作っている。 ・生徒自らが心身の健康を保つ力を育むための働きかけを行っている。	3.24 86%	錦城高校では学校生活や個人的な悩みについて相談のできる環境が整っていますか。	3.27 87%	錦城高校では学校生活や個人的な悩みについて相談のできる環境が整っていると思いますか。	3.33 88%	15%
	生徒理解	学びの主体である生徒の理解を深め、支援につなげる	・生徒の話を丁寧に聞き、教職員間で生徒情報の共有を進め、生徒理解を深めている。 ・生徒の指導や支援について研修等を通して、自己研鑽を深めている。	3.57 100%					
研究事業	高校生心のサポートシステムの研究を推進する	・生徒が参画して校則(スマホルール)の見直しを行っている。 ・生徒の「よりよい人間関係を築く力」を高めるための働きかけを行っている。	3.05 81%						
社会貢献への意欲の醸成	キャリア教育	体系的なキャリア教育を実施し、生徒の社会性および進路意識を高める	・キャリア教育部と学年団が連携して進路学習計画を立てている。 ・就職・進路ガイダンスや社会見学の実施など、生徒の発達段階に応じたキャリア教育を行っている。 ・キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」を高める取組を行っている。	3.38 95%	錦城高校では将来の進路や職業について考える機会を適切に設けていますか。	3.44 93%	錦城高校では将来の進路や職業について考える機会を適切に設けていますか。	3.34 95%	5%
	地域・外部との連携	地域の一員としての自覚を高めるため、地域や外部機関と連携した活動を実施する	・地域や保護者等と連携した多様な体験活動を設定している。 ・就職指導等とおして、地域を支える産業にも目を向ける機会を設けている。	3.14 90%	錦城高校では地域と協力した授業や行事が適切に実施されていますか。	3.44 94%	錦城高校では地域と連携した授業や行事が適切に実施されていると思いますか。	3.35 96%	7%
	自己有用感の醸成	学校生活を通して生徒が小さな成功体験を積み重ねるよう働きかける	・生徒が自ら考えて行動するよう働きかけている。 ・生徒会や委員会活動の活性化に努めている。 ・特別活動、ふるさと貢献活動やボランティア活動等とおして、生徒の自己有用感を高める機会を設けている。	3.24 95%	錦城高校では行事(体育祭・文化祭など)、生徒会や委員会活動が活発に実施されていますか。	3.50 95%	錦城高校では学校行事(体育祭・文化祭など)、生徒会や委員会活動が活発に実施されていると思いますか。	3.53 98%	2%
組織力・資質能力の向上	組織的な生徒指導	教員間で生徒指導について共通理解をし、協力して指導にあたる	・緊急時、教職員間で連携し、生徒、保護者に対して迅速に対応している。 ・学級における指導、個別の指導だけでなく、チームとして生徒を支援している。	3.19 90%					
	家庭・地域との連携	保護者・地域への積極的な情報発信を行い、学校教育活動への理解を深めてもらう	・保護者との連絡を密にし、生徒情報を共有している。 ・学年通信、HP、メール配信、公開行事等を通して、保護者や地域に本校の教育活動を積極的に発信している。	3.19 90%	学校ホームページや学年通信等での情報発信は、適切にわかりやすいものになっていますか。	3.35 93%	学校ホームページや学年通信等での情報発信は、適切にわかりやすいものになっていますか。	3.09 86%	8%
	教育観の涵養	コンプライアンスを遵守し、社会の変化に対応した指導力の向上を目指し、研究と修養に努める	・服務規律の遵守や情報管理を徹底している。 ・専門性を高める研究、読書、スポーツ、芸術鑑賞、旅行など人間性を豊かにする時間を作っている。	3.24 90%					
	勤務時間の適正化	勤務時間の適正化により、働きがいのある学校づくりを推進する	・自身のタイムマネジメントに取り組み、メリハリのある勤務に努めている。 ・心身両面にわたるリフレッシュと健康の増進を図るため、年次休暇を計画的に使用している。	3.14 81%					

(評価および点数化)

教員は行動指標の事例を参考にして実践目標に対する自己評価を総合的に判断して4件法で評価。

「十分できている=4点」「概ねできている=3点」「あまりできていない=2点」「できていない=1点」で評価を点数化。

保護者・生徒はアンケート項目について4件法で評価。「そう思う=4点」「ややそう思う=3点」「あまりそう思わない=2点」「そう思わない=1点」で点数化。

なお教員自己評価および生徒結果の表中の数値は、上段が点数の平均値、下段が回答者のうち3点以上の回答をした人数の割合である。

保護者結果の表中の数値は、左欄上段が点数の平均値、下段が回答者のうち3点以上の回答をした人数の割合、右欄が回答者のうち「わからない」と回答した人数の割合である。